

BUSINESS

リーダーになる!



実践する上司学。
嶋津良智による、よきリーダー、上司になるための必読コラム。



嶋津良智 ■ リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。13年、「怒らない技術」シリーズほか、著書の累計が100万部を突破した。
www.leaders.ac

第106回 準備の効果はワクワク

しっかりとした準備を整え、会社や事業の計画を提示できれば、見えない未来に対する不安もめぐえ、未来に対するワクワク度が上がります。

準備8割本番2割見通し立て安心を

人が不安になるのは、「見えない未来に対して」です。見えない未来を見通せるしつかりとした準備が整うと、今度は未来に対する期待が生まれ、ワクワクしてきます。会社の事業計画も同じです。

わたし自身、セミナーの準備をしていくづくづく思うことは、「準備8割本番2割」の事実。納得いく準



備ができたかどうかで、「イメージ」の度合いが違います。納得する準備ができるのと当日が楽しみで仕方がない。受講生が学んでいる姿やうなずいている姿が目に見えてくるものです。「ここでできると笑ってくれる」、「ここでできるとグッと前

のめりになってくれるだろうな」など、いろいろ想像できる上、ほぼその通りになるから不思議です。

ところが、準備不足の時は「想定外のこと」が起きたときに、動揺して、舞い上がってしまうかも…、「つまらん話をするなよ」と思われないかなあ」と、小心者の嶋津としては、不安ばかり先立つてしまいます(汗)。

会社の事業計画も同じです。会社や事業が、この先どうなるか分からないと不安になります。しかし、事業計画をしつかり立て、先の見通しがつくと、経営に対して、ワクワクしてきます。そして、部下もこれから会社がどういった方向に

向かっているのかが分かれれば、それだけでも安心します。

ゴールのイメージ共有 部下のやる気もアップ

自分が納得いく準備ができると先の見通しが立ちます。逆に、準備不足だと見通しが立たず、起こってもしない未来に不安を感じてしまいます。だからこそ、計画も含め、準備は仕事をする上で欠かせないものです。チームとしてありとあらゆる状況に対して準備ができていくと、それは強力な武器になります。やる気やモチベーション

事や会社に明るい未来が見通せないからです。逆に言えば、暗い未来が見通せてしまい不安が先に立つので、やる気やモチベーションが上がらずに、なかなか動けないという場合もあります。

部下のやる気やモチベーションを上げるには、明るい未来が見通せるしつかりした計画と準備を、社長や上司がすること、そして本人自身にさせることが大切なことです。やる気やモチベーションが上がっていない部下をお持ちの方は、計画と準備を整えることにより、「ゴールイメージ」と「プロセスイメージ」をチェックしてあげましょう。